

校長室からのお知らせ

9月30日号 NO.22

岸和田市立山直北小学校
校長 尾野武志

四氣

「四氣」と書いて、「しき」と読みます。漢字が示すとおり、4種類の「〇〇気」です。子どもたちには、この「四氣」を持ってほしいと願います。

まずは、「元氣」です。何をするにも必要なのは、やはり「元氣」です。「元氣」と聞けば、どうしてもアントニオ猪木さんの「元氣ですか 元氣があれば 何でもできる」という言葉が思い浮かびます。この言葉には、アントニオ猪木さんの人生観と、どんな困難も乗り越えることができるという信念が込められているそうです。私が子どものころは、アントニオ猪木さんやジャイアント馬場さんが悪役レスラーを相手に奮闘するプロレス中継が週に2回も放送されていたので、プロレスラーがとても身近な存在でした。その影響もあって、いまだにアントニオ猪木さんの「元氣ですか」の映像を見たり声を聞いたりするだけでも、懐かしさよりも「元氣がもらえた」気になっています。余談が多くなりましたので、話を戻します。

次に、「やる気」です。何かを始めるときに、必要になるのが「やる気」だと思います。「やる気」は心のエンジンになります。「やる気」を持って取り組めば、伸びるはずですよ。

そして、「根氣」です。最後まであきらめず粘り強く取り組むために必要です。人からはとても些細なことに見えても、こつこつと繰り返し何度何度も積み重ねることは、大きな成果に必ずつながると信じています。

最後は、「本氣」です。「まじ」とは読まず、「ほんき」と読んでください。「本氣」で集中して取り組めば、自分でびっくりするくらいの力が出ることもあります。

そのほかにも、「勇氣」や「強氣」や「人氣」や「運氣」など、持っている心強いものも多数ありますが、まずは「元氣」と「やる気」と「根氣」と「本氣」を持って、何かに挑戦してほしいと願います。

明日からは、10月です。1年の後半が始まります。もう半分が過ぎたと思うか、まだ半分も残っていると考えるかで、できることは変わってくると思います。子どもたちの成長を期待しています。